

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(*)

平成29年度 維持管理状況(5月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 渋谷清掃工場 1号炉 5月15日(月) 10:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で107ppmを記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。
直ちに、燃焼用空気流量の調整及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を行った。
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。
- ② 千歳清掃工場 1号炉 5月21日(日) 3:00
燃焼室ガス温度が、758℃を記録した。
原因は、ごみ質の変動により燃焼が不安定になったことによる。
直ちに、助燃バーナの運転を行い燃焼改善を図った。
その結果、維持管理計画値以上の正常な状態に回復した。
- ③ 世田谷清掃工場 1号炉5月22日(月) 2:00
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で101ppmを記録した。
原因は、ごみ供給の急激な変動により燃焼が不安定になったことによる。
直ちに、供給量の調整及び助燃バーナの運転を行い燃焼改善を行った。
その結果、維持管理計画値以下の正常な状態に回復した。